

平成 25 年度後継者育成支援事業報告書

平成 26 年 2 月

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター

はじめに

平成 20 年度から後継者育成支援事業を始めて本年で 6 年目を迎え、当指導センター事業の中でも重要事業の一つに数えられるようになりました。

生活衛生営業は、他の業種以上に後継者不足の問題が深刻で、人手不足の問題も相まって業界全体は縮小傾向にあるといっても過言ではありません。

そうした状況を将来に向かって少しでも改善していこうと、本事業では生衛業の魅力を伝え、理解を深め、将来的に生衛業に従事しようと志す人材を確保することを目的に実施して参りました。

本年度は、「職場体験」の申込がなく「出前授業」を中心に開催することとなりましたが、例年にも増して多くの中学生にご参加いただくこととなり、生衛業の魅力や理解を広く深めることができたのではないかと自負しております。

ここに、これまで各地で開催しました内容を、本報告書にとりまとめ致しましたので、お目通しいただければ幸いです。

終わりに、本事業開催にご協力いただきました後継者育成支援協議会の各委員の皆様をはじめ、生活衛生同業組合及び講師の皆様、また開催にご尽力いただきました各学校関係者の皆様及び京都府、京都市の皆様方に心より深く感謝申し上げます。

平成 26 年 2 月

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター

代表理事 山 岡 景 一 郎

目次

I	平成25年度後継者育成支援事業の概要	・・・・・・・・・・	1頁
	I-1	後継者育成支援事業 目的	
	I-2	後継者育成支援事業 協議会名簿	
	I-3	後継者育成支援事業 協議会日程	
II	平成25年度後継者育成支援事業の実施報告	・・・・・・・・・・	2頁
	I-1	出前授業	
	I-2	職場体験	
	II-1	第1回出前授業 大原野中学校 (寿司)	
	II-2	第2回出前授業 洛水中学校 (麺類)	
	II-3	第3回出前授業 藤森中学校 (美容)	
	II-4	第4回出前授業 大宅中学校 (クリーニング)	
	II-5	第5回出前授業 加茂川中学校 (理容)	
	II-6	第6回出前授業 桃山中学校 (美容)	
	II-7	第7回出前授業 四条中学校 (麺類)	
III	平成25年度後継者育成支援事業の総括	・・・・・・・・・・	20頁

<参考資料> 京都市教育委員会「生き方チャレンジ体験パンフレット」

I 平成25年度後継者育成支援事業の概要

I-1 後継者育成支援事業 目的

本事業は、若年者へ生活衛生関係営業の魅力を伝え、理解を深めるとともに、将来的に生活衛生業に従事したいとする職業観の向上と就業意欲を促し、次代を担う後継者育成につなげていくことを目的に実施する。

I-2 後継者育成支援事業 協議会名簿

	氏名	所属団体
学識者委員	山岡景一郎（委員長）	平安女学院大学学長
	村山 芳登	公益財団法人京都産業21 京都ものづくり雇用プロジェクト推進センター センター長
業界委員	福田 秋朝	京都府理容生活衛生同業組合 理事長
	山本 芳孝	京都府美容業生活衛生同業組合 専務理事
	阿部 弘	京都府クリーニング生活衛生同業組合 副理事長
	三嶋 吉晴	京都府麺類飲食業生活衛生同業組合 理事長
	宇治田脩孟	京都府寿司生活衛生同業組合 理事長
	矢野 義雄	京都府中華料理生活衛生同業組合 理事
	園部 平八	京都府料理生活衛生同業組合 副理事長
行政委員	森田 朗	京都府健康福祉部生活衛生課 課長
	池上 祐司	京都市教育委員会企画推進室 京都まなびの街 生き方探究館 副室長
特別委員	伊井 光晴	公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 専務理事

I-3 後継者育成支援事業 協議会日程

開催日	開催場所	会議内容
平成25年6月5日（水）	京都ガーデンパレス	具体的な実施計画の策定
平成26年1月28日（火）	京都ガーデンパレス	実施事業結果評価・総括

Ⅱ 平成25年度後継者育成支援事業の実施報告

I-1 出前授業

	実施日	学校名	業種	参加人数
①	平成25年6月4日	京都市立大原野中学校	寿司	102名
②	平成25年6月6日	京都市立洛水中学校	麺類	70名
③	平成25年6月10日	京都市立藤森中学校	美容	287名
④	平成25年10月10日	京都市立大宅中学校	クリーニング	119名
⑤	平成25年10月11日	京都市立加茂川中学校	理容	144名
⑥	平成25年10月17日	京都市立桃山中学校	美容	228名
⑦	平成25年10月29日	京都市立四条中学校	麺類	130名

I-2 職場体験

本年度においては、職場体験は実施していません。

II 出前授業

第1回京都市立大原野中学校（京都市西京区大原野上里南ノ町18）

日 時	平成 25 年 6 月 4 日（火） 13:55～14:40
業 種	寿司
講 師	京都府寿司生活衛生同業組合 北倉 弘款 氏
参加人数	102 名（2 年生）
内 容	<p>講師が寿司店に勤めた理由や厳しい修業時代、また寿司店開業に向けて独立を決意した時期、その時の気持ちなど、生徒達に穏やかにわかりやすく説明していた。そのなかで印象的だったのが、「どんな仕事でもがまんは必要。一度勤めた職場には最低 5 年はいて欲しい。ある程度のがまんと続けていくことが何よりも大切」と講師自身の経験を踏まえた、「がまんと続けることの大切さ」は非常に説得力を感じさせた。</p> <p>続いて講師自らの実演により、太巻き、バッテラ、にぎりが披露された。ベテラン職人による巧みな包丁さばきやにぎり、巻きの出来栄えに、生徒達は食い入るように見つめていた。</p>



今日の話を聞いて、かまんすることやあけっなどの
しんどさが少しわかりました。

「働く」ということはあけっが一番大切だと
思います。理由はどんな仕事にでも必要な
ことだからです。

そして、とてもやめたくても「かまん」が大事だと
話の中で知りました。

次の実際に体験するときにもっと働くという
しんどさが学べると思いました。

だから、きんちょうをもって体験したいです。



今日の講演を聞いてチャレンジ体験や将来接客な
どをするにあたって礼儀など言葉はとても大切だと感
じた。チャレンジ体験では学んだことを身に付け
将来の仕事に役立てていきたい。

又、礼儀だけでなく無愛想な顔をせずにお客さ
んなどが嫌な思いをしないような接客、対応な
どをしてより好かれる社会人になりたい。



この日の講演が一番、仕事の大変さが分かりました。

今は様々な賞などでもらって、すごく活躍している
ようなすごい方でも、最初はみんな同じスタートで、
たいていのくろうや辛抱をしていたことと聞くと、
本当に大変なんだと思いました。

でも、どんな仕事もくろうなことは上手いかな
といけないうと、逆にやうと、だれもモクンヌあるの
かなあと思ひます。だから、私も将来大人になったら
どんな仕事にいても、絶対努力をしまないよう
にしたいです。

今回、本当にすごい人に話ができて、とてもいい

体験になりました。このことを自分のようにいかに
生かしていきたいと思います。



第2回京都市立洛水中学校（京都市伏見区横大路竜ヶ池31）

日 時	平成25年6月6日（木）13:45～14:30
業 種	麺類
講 師	京都府麺類飲食業生活衛生同業組合 堀部 和宏 氏、河村 浩也 氏
参加人数	70名（2年生）
内 容	<p>『いただきます』『ご馳走様でした』を言う意味は？」 「また誰に対して言っているのか、みなさんわかりますか？」</p> <p>食事ができるまでに農家の人たちから農協、輸送業者、仲介業者、飲食店など様々な、そして多くの人たちの関わり合いがある。そうした人々の努力や苦勞があって、はじめて1つの食事ができているといっても過言ではない。だからこそ、私達は食の提供に携わった多くの人たちに感謝を示す意味で「いただきます」「ご馳走様でした」を言っているのである。と講師から生徒達に説明がなされ、生徒達もまた真剣に聞き入っている様子であった。</p> <p>その後、手打ちそばの実演が行われ、そばを打つ際に「切る」の作業は習得に3日もあればできるものの、「伸ばす」作業は3ヶ月、「こねる」作業は3年かかるとのこと。思っていた以上に習得期間に大きな違いがあることを説明され、生徒達は驚いた表情で作業を見つめていた。</p>





今日の、そば屋の方の講演が、ふんふんかか
 見ることのできないそば作りを見せていた
 いえ、すごく大変が難しいことをあなたに
 知れた作ってあるあつすーいと思いました。
 そば、10人に何百人もの方が、聞かっている
 ことが、知れて、あとでうまかったです。
 いただきまます、ごちそうさまは、とても
 重要な意味がある、その話を聞いて、私は
 もっと「いただきまます、ごちそうさま」に、
 感謝の気持ちをおこめて言いたいと思
 いました。

今日は本当に良い講演を聞いた
 見たりすることができた良かったと、
 思った、改めて色々な人々の苦勞を
 知ることができて良かったです。



田毎さんへ

私はそばの作り方を少しおしえていただきたく
 さん知ることがあります。そば粉は、そばの異
 ったことや、生地には意外に二種類の粉に
 適量の水を入らなければならないこと。作り
 方の息田部までよくわかり、『職人技』とい
 うのを感じました。素人に行き、何度くり返
 している人に行かなくて、いい技術を見てよ
 かったです。ゆんを細く同じ太さで切るのも
 すごかったです。できれば、近くで見た
 かったです。
 質問ですが、プロには何回かスラップがある
 と思います。あの職人さんのような技あり
 ましたか？私、もしも、その技があったら、ど
 のようになるのですか？個人的なことには
 ありませんが、どうもありがとうございます。



田毎さんへ

私は、今日の、お前授業の話聞いて
 そばをつくるには何百人、何千人の
 苦勞があって、それを私が、やっと
 食べられる形になるんだなと
 思いました。
 私は、普段「いただきまます」と言
 いても、今日お前授業に、いろいろな人の
 苦勞があって、食べられるとは、
 感じなかったから、これからの
 食事の時には、しっかり考えて
 食べたいと思いました。
 今日は、とても貴重なことを
 教えていただきありがとうございます。
 ごさいます。

第3回京都市立藤森中学校（京都市伏見区深草池ノ内町55）

日 時	平成 25 年 6 月 10 日（月） 14:20～15:05
業 種	美容
講 師	京都府美容業生活衛生同業組合 吉田 吏沙 氏、中嶋 優佳 氏
参加人数	287 名（2 年生）
内 容	<p>生徒の人数が多いため、開始から2グループに分かれ実演を交えながら講義が実施された。何故この職業を選んだのか？ 給料はどのくらい？ この職業に就いて何年目？ どれくらいの時間働くの？ 同じ仕事でイヤにならない？ 有名人をメイクしたことはある？ など率直な質問が生徒から講師に投げかけられた。そうした質問に2名の講師は自身の経験や考えを丁寧な口調でしっかりと答えていた。</p> <p>そうした質問に対する回答の一例をあげると、「仕事でイヤになったことはある。しかし色々な人に支えられてここまでやってこれることができた。何で自分がこの仕事をやりたいのか、その明確な意志が大事だと思う。そして、やる以上は一生懸命することが何よりも大切だと思う。」</p> <p>2名の講師は20代の若手美容師。とはいえ全国大会で表彰されるなど結果を出している。そのせいか物怖じしない堂々たる様子の講義であった。また年齢的にも近い講師に生徒達も親近感を感じ、非常によい雰囲気での講義となった。</p>



中嶋 優佳さん

先日は、私たちのために藤森中学校に来ていただきありがとうございます。
とても勉強になりました。中嶋さんの仕事は大変だと思いました。美容師になるに
こなさんのくろうもしているとは初めて知りました。私は将来、看護師を目指しています
中嶋さんに教えてもらったことも仕事でいかしていきたいと思いました。中嶋さんが
美容師になるのに時間がかかるように看護師になるにも時間がかかります。
でも、中嶋さんが夢に向かってがんばるうちに、私も夢に向かってがんばるうちに
がんばりなれます。先日は、本当にありがとうございます。これからも
がんばってください。



今日は、11月にある生き方探究センター体験（生きた）のために出前授
業に来てくださってありがとうございます。僕は、1ヶ月を振り返ると個人的にはあ
まじめにはなっていない。話の内容を聞いてるとすごく勉強になりました。
例えば、全国大会で入賞するまでは先生の修業やアポイントから
の練習をこなして全国大会入賞までのやりかたを聞いてほしいと思いました。
僕も、剣道をやって全国大会出場を目指している。今日の話を聞いて
今からコツコツがんばりたいです。今日の話を聞いて生き方もがんば
りたいです。今日は本当にありがとうございます。



吉田 更紗さん

先日はお忙しい中、私たちのために講師として来て頂いて、本当にありがとうございました。

吉田さんは、自分の好きなことを仕事としていて、すごくなと思います。私は、「これか!?」と
いうもの感無いです。11月の仕事体験学習も、ぜひ行ってみたい。みなさんの話を聞いて、
お話を聞いて、美容、理容関係も体験するの、いいかなと思います。

今日のお話を聞いて、美容師のお仕事、ものすごく大変だけれど、たくさんの人を笑顔にできる、
やりがいがあるかなと思います。これは、どの仕事に就いても大切なことだと思います。

将来、どんな仕事に就くかは、まだ全然分かりませんが、仕事体験学習や、今日の講習会を通じ、
少しずつ決めたいです。この講習会で学んだことを、実際に活かして、仕事体験学習を頑張りたいです。

本当にありがとうございました。美容師のお仕事、頑張ってください。



第4回京都市立大宅中学校（京都市山科区大宅山田113）

日 時	平成25年10月10日（木）13:25～14:20
業 種	クリーニング
講 師	京都府クリーニング生活衛生同業組合 清水 幹央 氏、阿部 純資 氏、十二里 大平 氏、北村 勇人 氏
参加人数	119名（2年生）
内 容	<p>中学生が普段着る身近な学生服を例にクリーニングについて説明。洗濯機があつて家庭でもできるのに何故クリーニングに出す必要があるのか？</p> <p>その理由の1つとして、プロにしかできないプロの技（ドライクリーニングや染み抜きなど）を紹介していた。また衣類をただ洗うのではなく、お客さんが衣類を長く着ていただけるようにメンテナンスを含めクリーニングするよう心がけていることも説明していた。衣類の特性や性質を知り尽くしたプロだからできる魅力あるサービスを感じさせた。</p> <p>講師によるアイロンがけの実演も行われた。実際にワイシャツをアイロンがけし、作業ポイントについて他の講師から生徒達にわかりやすく説明がなされていた。生徒達もまた興味津々といった感じで、くしゃくしゃのワイシャツが徐々にきれいにアイロンがけされていくプロの作業に見入っていた。</p>



大宅中学の皆様へ

本日は受講いただき誠に、ありがとうございました。何か一つでも皆様のお役にたてれば幸いです。

右記に京都クリーニング生活衛生同業組合 青年部が開催いたしております「京都クリーニング検定入門編」がございます。是非一度挑戦してみてください。

5問中3問正解で入門編認定です。

京都クリーニング検定入門編

○×で答えてください

問1	クリーニング師と言う国家資格がある	<input type="checkbox"/>
問2	ドライクリーニングは水を使わない	<input type="checkbox"/>
問3	洋服は着用した後早めにクリーニングしたほうが良い	<input type="checkbox"/>
問4	洋服は着用前にクリーニングしたほうが良い	<input type="checkbox"/>
問5	ワイシャツを仕上げる業務用アイロンは重い	<input type="checkbox"/>

①今回のお話を聞いて、知ったこと、感想など。

あり 自分の中で直接クリーニングに関わることばかりで、今回のお話を聞いて、少しでもクリーニング技術者の思いや技術を知らせてほしい。お話を聞いてからは、自分も色々と仕事をしていて、あとクリーニングは、今でも同じ仕事をしていて、他の方のクリーニング屋は理由が別々でそれぞれの道が分れた。クリーニング屋には、今も同じように、クリーニングに関わる熱い思いは向かい合いたいと思えました。

②自分のチャレンジ体験に生かしたいこと。

クリーニング屋の方々は、自分のついで仕事について研究し、熱い思いをもって向き合っている。これこそ経験では、その方に仕事に対して、真剣に向き合い、知ろうとする姿勢が大切だと思います。

認定証
入門編

貴方は大宅中学校出前授業
京都クリーニング検定にて
入門編を見事合格されたことを
ここに証します

平成25年 10月10日

京都クリーニング生活衛生同業組合 青年部
京都クリーニング検定協会
会長 十二里 大平

①今回のお話を聞いて、知ったこと、感想など。

一番お話を聞いて、印象に残ったのは、自分に立ち上げている未来に期待し、そのしるしを大切にがんばっていくということ。そして、うそ無理な目標とかやらないこと、先にあることを無視して暗い方向に進んでいくのは絶対よくないなと思いました。それに、もし自分の興味、楽しみ、仕事などをするときに、あきらめないこと、やりがいのあること、自分で決めて、がんばっていく。と思いました。



①今回のお話を聞いて、知ったこと、感想など。

ずっといろいろな仕事をして、自分に合った仕事を見つけるまで時間がかかる人もいるし、すぐ見つける人もいるという事が分かりました。

クリーニングの実践では、まず家庭用アイロンと業務用アイロンの違いという事が分かり、勉強になりました。

そして、それを活かせることも分かりました。普通の家庭で、と水など、所までやるには体力と経験が必要ということも分かりました。

②自分のチャレンジ体験に生かしたいこと。

とにかく1個でも何か学んで帰りたいです。

でもそのためには、自分から動かないとダメだと思いつつ、言われた仕事はちゃんと完璧に5日間をしたいと思います。

そして、未来の道路決めなどに少しでも生かせるようにがんばりたいです。

第5回京都市立加茂川中学校（京都市北区紫竹上長目町5）

日 時	平成 25 年 10 月 11 日（金） 13:20～14:30
業 種	理容
講 師	京都府理容生活衛生同業組合 根津 英和 氏
参加人数	144 名（2 年生）
内 容	<p>「仕事をする上で大切なことは？」</p> <p>『はい』としっかり返事をする事です。あいさつや言葉遣いは大切です。成功する人は、こうしたことをしっかりできる人が多いと思います。」さらに、『笑顔』ができるかどうかも大切です。仕事をする上で笑顔は欠かせません。仕事は大変で苦しいこともたくさんあります。だからこそ、お互いに気持ちよく仕事をしていく上でも笑顔は非常に重要です。」</p> <p>また「同じ仕事、同じ作業でも関わる人間の意識によって、仕事の不出来に大きな差が生じてきます。仕事への情熱や達成感、また人生の満足度にも大きな違いが出てくるかもしれません。物事に取組む際の人の意識はとても重要です。」と、まだまだ若い中学生に対し、仕事を通じ社会との繋がりや人生観について熱く語っていただいた。そうした内容に生徒達もまた熱心にメモをとり聞き入っているようだった。</p> <p>その後、講師より実演を披露。理美容世界選手権日本代表として銀メダルを受賞した見事な手さばきに、生徒達の興味を一心に集めていた。</p>





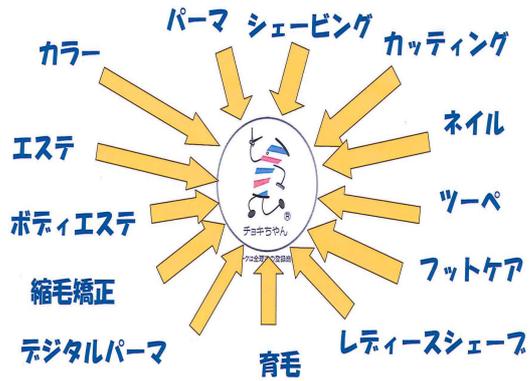
理容師・美容師の大きな違い

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 理容業 (散髪屋) ・ カット 男女とも OK ・ コールドパーマ 男性 OK 女性 × ・ シェービング OK ・ 高年齢まで夫婦で現役 ・ 減少中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 美容業 (パーマ屋) ・ カット 男性 △ 女性 OK ・ コールドパーマ 男女とも OK ・ シェービング × ・ ピークは35歳 ・ 飽和状態 |
|--|--|

徳し系の店が多い

おしゃれ系の店が多い

理容師の仕事



本題

働くこと (チャレンジ体験) の注意点

古代エジプトの話

ピラミッドの石を運んでいる人に
「何をしているのか？」と聞いた。

- 1番目の人は「石を運んでいる」
- 2番目の人は「ピラミッドを造っている」
- 3番目の人は「壮大なエジプト文明を創っている」



第6回京都市立桃山中学校（京都市伏見区桃山水野左近東町19）

日 時	平成25年10月17日（木）13:20～14:10
業 種	美容
講 師	京都府美容業生活衛生同業組合 福永 茂輝 氏、富田 健太 氏、芝田 優馬 氏、前田 裕子 氏
参加人数	228名（2年生）
内 容	<p>「美容師はヘアースタイルだけではなくありません。ネイルやブライダル業務もあります。礼儀作法の勉強も欠かせません。」美容師として個人差はあるものの、シャンプーを習得するのに2～3ヶ月、カットに3～4年、一人前になるには10年以上かかると言われている。また新しい技術や情報を得るため、休日には勉強会に参加することも多い。「美容師は手先が器用でないといけませんよね？とよく質問されるんですが、実は手先の器用不器用はあまり関係ありません。努力でなんとでもなるんですよ。」</p> <p>講師からの説明後、2つのグループに分かれて実演講義が行われた。実演を交えながら、「なぜ美容師になったんですか？」「美容師になってびっくりしたことは？」などの質問が生徒からあり、講師は自身の経験を交えながら、質問に丁寧に答えていた。最後に講師から生徒達にメッセージとして、「何でもいから何か1つしっかり頑張ってください」「『ありがとう』はしっかり伝えないと伝わっていません」「勉強頑張ってください」などの言葉を伝えていた。</p>



第7回京都市立四条中学校（京都市右京区西院日照町1）

日 時	平成 25 年 10 月 29 日（火） 14:15～15:05
業 種	麺類
講 師	京都府麺類飲食業生活衛生同業組合 堀部 和宏 氏、河村 浩也 氏、太田 一樹 氏、村上 源太郎 氏
参加人数	130 名（2 年生）
内 容	<p>講師から、「そばを打つ際には、こねる、のばす、切る、の 3 段階の作業が必要です。そして、おいしいそばを食べる条件として、引き立て、打ちたて、茹でたて、が揃う必要があります」と説明。</p> <p>説明の後、2 つのグループに分かれて実演が行われた。間近で見るプロのそば打ちに生徒達も興味津々といった具合で見入っており、最後に「切る」の作業が終わる頃には拍手と歓声が会場に響き渡っていた。</p> <p>実演の後、講師より仕事に対する自分の思いや職業観について話していた。その話の中でいろいろ仕事が大変で嫌になったこともあったが、「食べ物は人を笑顔にする。そして人に感動を与えることができる。」ことを仕事を通じ強く実感することができた。そして、それが好きで今までこの仕事を続けてくることができたことを説明していた。そうした思いが強く生徒に伝わったのか、生徒もまた真剣に講師の話に聞き入っているようだった。</p>





私は今日の講演でいつか私たちが見たりしている仕事の裏方も見ることが出来ました。奥頃は職人の方の真けんな表情を見て、「仕事も本気で好きな人は、こいいなあ」と思いました。見た目とはまた違う、こいいなあ、その裏にはとてつけない努力とこいいというところが体験談でわかりました。

いいものをつくり上げるには努力とあきらめなことが大切だと分かったし、仕事をする事のすばらしさと大変さをも見ることができました。

このことを、チャレンジ体験とこれからの人生に活かしていきたいです。



私はお話を聞いて、働く中で上下関係が厳しかったり、そばを作るところを見ると、感覚でやっているところなどが、こんな難しい作業をするまでにどれだけと努力が必要なのかなと思いはじめ、そして尊敬しました。私は私と続けていけないと思ったからです。でも、やりがいや嬉しかった話などを聞くと私も、手くてもやりがいがあり、自分がほろりのものを仕事を見たいと思いはじめました。そしてたとえ自分がなりたかったものにたれたとしても、朝ごはんから雰囲気や帰るまでかえりかえり、私も自分で仕事を楽しくするよう行動をしたい。できる人になりたいと思いはじめました。

やりがいや嬉しいことがあると自分の仕事が好きになれ、とほろりにおもえさることを考えてみると思いはじめました。なので、私も、今も、そばのことでも、やりがいや嬉しかったところを、ぜひ見つけられるようになり、自分から何でも進んで行きたいと思いはじめました。もし、みつけられない時、自分から変えていけるようになりたいです。周りと同じことだけをするのではなく、進んでいけるように、こいいなあと思いはじめたいと思いはじめました。お話を聞いて、こいいなあと思いはじめ、この仕事が好きな人だと思いはじめました。



講演を終えて、そば屋の方の話を直接聞いたのは初めてで、修業は、思っていた以上に大変なことだなと思いはじめました。

その仕事に就くために、修業に行くとあまりお給料ももらえない中、働き続けるのは金銭的にも精神的にも大変だなと思いはじめました。

でも、仕事は嫌なことや苦しいことのほうが多いかもしれないけど、その仕事を続けていたら嬉しいことや楽しいこともある、それを大切にして働く、お客様に笑顔にならしてもらえようように働く、自分が将来、どのような職業に就いても、今日学んだことを大切にしたい、と思いはじめました。

出前授業の中学生の感想文抜粋

京都市立大原野中学校

- ・なんでもうまくなるためには、努力と辛抱の積み重ねが必要なんだとわかりました。自分に足りないものが分かり、改善できるいい時間になりました。
- ・働くということは、決して楽なことではなくて、がまんや努力を続けていかなければならないことがわかりました。また努力を続けていけば、うれしい出来事もあることを知りました。
- ・一つのものに向かってがんばっていくという、「辛抱強さ」が大切だと感じました。何年も何年も積み重ねてきたものが、しっかり実を結ぶのがいいと思いました。私も今からがんばれば何でも目指せると思います。
- ・様々な賞をもらってすごく活躍している方でも、最初はみんなと同じスタートで、たくさんの苦労や辛抱をしていたことを聞くと、本当に大変なんだと思いました。私も将来大人になったら、どんな仕事についても絶対に努力を惜しまないようにしたいです。

京都市立洛水中学校

- ・僕は麺類の中でもそばが特に好きなので、今回はそば打ちを間近で見ることができてうれしかったです。麺棒を3本使うところや丸から正方形にすることが分かってよかったです。家に帰って家族にも教えてあげたいです。
- ・一つの食品、一つの物でもその中に含まれている仕事、苦労は多く、たった840円の中にもたくさんの想いが詰まっているんだなと思いました。
- ・そばを作るのに、水の量が決まっていないということを初めて知りました。そばをお客さんに出すだけでも、たくさんの方の思いが入っているということも、改めて知ることができよかったです。これから「いただきます」「ごちそうさま」にも意識しながら言おうと思います。
- ・今まで何も気にせず「いただきます」と言っていましたが、今回の講演で一つの食べ物には多くの人の手と努力と汗が入っていることがわかりました。これからも食べ物を残さずに大切に感謝して食べたいと思います。

京都市立藤森中学校

- ・「人は化粧をするとめっちゃ変わるんだなー」と思いました。自分の好きなことを仕事にできるのはいいことだし、私も将来自分の好きなことを仕事にできるようにがんばりたいです。
- ・今の職業につくのに大変な困難があったと思いますが、それを乗り越えてここにいるのはスゴイと思います。僕もあきらめず何度も挑戦しようと思います。
- ・美容院で働いている方もはじめはすごく苦勞していることを知って、仕事ってやっぱり大変なんだなあと思いました。講師の方も全国大会に出られていて、とてもすごいと思いました。私も普段の生活で嫌なことがあっても諦めずに頑張っていこうと思います。
- ・出前授業をみて、自分の仕事に誇りを持っていると感じました。あの時をきっかけに、僕も大人になったら自分の仕事に誇りを持ちたいと思いました。この間は、僕達にプロのヘアメイクを見せていただきありがとうございました。

京都市立大宅中学校

- ・クリーニングのお店で使用している水は家庭で使用している水ではなく、石油が使われていることにびっくりしました。ティッシュを使った実験でも、石油が入った方はぼろぼろになっていませんでした。だから、クリーニングに出した衣服は、型くずれやシミがないのだなと思えました。クリーニングの技術はすごいなあと思えました。
- ・「お客様に満足してもらおう」その信念は素晴らしいと思います。クリーニングは、普通の洗濯機を人がやるだけと思っていたのですが、ドライクリーニングや素材にあった温度など、奥が深いことに気づきました。すべての職業が、思っているところと違うんだなあと思います。
- ・プロの人のアイロンがけと家庭でのアイロンがけの違いがすごかった。しわが一つも無かった。触れただけでアイロンの温度が分かるのはすごい。さすがプロ。これからはクリーニングに頼ろうと思う。
- ・クリーニング店に行ったことがなくて、おばあちゃんか、お母さんが行ってくれていたのも何も知りませんでした。でも、アイロンの仕方やクリーニング店がある理由など、様々なことを教えていただきました。一度クリーニング店に行ってみたくなりました。

京都市立桃山中学校

- ・美容師とあって、手先の器用な人やセンスがいい人しかねないんじゃないかと思っていたので、講演を聞いて一番大切なのは、その人の努力によるんだなって思いました。それに、ただ髪を切るだけでなく、他のことも色々やっているのを知って、決して楽ではないということが分かりました。講師の方の立ち方、言葉使い、また常に「お客様」を意識している集中力に驚きました。今やっている仕事が楽しい、好きという想いが伝わってきて、仕事は自分を一生懸命にしてくれるんだなと思えました。
- ・やっぱり夢は見ているだけでは叶わないのだと思いました。でも、夢のために苦労してがんばることはカッコいいことだし、美容師さんたちを見習うようにしたいなと思いました。そして、実演を見て、人って髪型でこんなにも印象が変わるんだなと感動したし、美容師への興味も深まりました。
- ・みなさん生き生きしているなと思いました。そして、自分もそろそろ将来のことを考え始めてもいいなと思いました。将来のためにも今からしっかり勉強しないとだめだと感じました。本当にみなさん、カッコよかったです。本気で将来のことを考えていこうと思います。

京都市立四条中学校

- ・私がお話を聞いて、働くことは本当にしんどいことが分かりました。ちょっとしたアイデアで、みんなが笑顔になれる仕事っていいなと思いました。講師の方が言っていたように、お金が多くもらえる楽な仕事という考えはダメだと思いました。実際にそば打ちを見て、さすが職人さんだと思いました。生でそばを打つところは初めて見たので感動しました。あの作業をするのに、何年も修業しないとできないと聞いてびっくりしました。
- ・僕の人生に役立つことが聞けてとてもためになりました。人生には挫折が必要だと思えました。挫折をしないと人って成長しないと思います。僕は自分の夢を必死に追いかけて、時にはつらいことがあっても、その夢をあきらめずに生きていこうと思います。
- ・働くのは大変だなと思いました。仕事に就いたときに自分より年下の人に敬語を使ったり、朝早くから起きて店の準備をしなければならないなど、厳しい世界だと思いました。でも、そのようなことがあるからこそ、私達はいつもおいしいそばを食べられるんだと思います。
- ・お話しの中で「あきらめない」という言葉が頭に残りました。私も将来の夢はまだ決まっていないけれど、これから先に決まったら、その夢をあきらめずにがんばっていきたいです。講演を聞いて働くことの意味を考えさせられました。

Ⅲ 平成25年度後継者育成支援事業の総括

昨年同様、早期に京都市教育委員会へ本事業の協力のお願いをしたところ、迅速かつ丁寧にご対応してもらい、多くの中学校から出前授業のお申込をいただくことができました。

また、出前授業を開催致しました各中学校の先生方には、大変お忙しい中、本授業の打合せや会場の提供などにご協力いただき、本年度も滞り無く実施することができました。

1. 出前授業について

主に京都市立中学校の生き方探究チャレンジ体験の事前学習という位置づけで、理容、美容、クリーニング、麺、寿司の出前授業を実施致しました。対象者がまだ中学生ということもあり、進路に対する具体的な目標が定まっていない生徒が多数を占めておりましたが、受講した生徒の感想文を見ていると、仕事の大変さや難しさ、夢を持ち実現することのすばらしさなど生き生きとした内容のものが多く見受けられました。生き方探究チャレンジ体験との連携で出前授業を実施することは、大変有効なものであると実感致しました。

2. 職場・職業体験について

京都市教育委員会を通じ募集を複数回行なうものの応募がなく、本年度は実施しておりません。

3. 事業効果と今後の展開について

本事業は、生活衛生関係営業の魅力や理解を広め、次代を担う後継者や人材の不足を解消することを目的に開催致しましたが、受講対象者が中学生であったことから現実的な成果はまだまだこれからです。しかし、地道ではありますが、若年者に対し生衛業の将来的な後継者や人材の確保につなげていく、よいきっかけになったことは間違いないと認識しております。

今年度は例年実施しておりましたが、「職場・職業体験（インターンシップ）」の授業を、学校からのご応募がいただけず、残念ながら開催することができませんでした。今後は、課題・問題点を整理のうえ、引き続き次年度への改善事項として取組んで参ります。

また、本事業を京都市内にとどまらず広く京都府内全域まで拡大し、より広範囲に、そして多くの人々に生活衛生関係営業の魅力と理解をお伝えできるよう、関係機関等と連携のうえ取組む所存でございます。

生き方探究・ チャレンジ 体験

中学生の
職場体験活動

京都市立中学校・総合支援学校

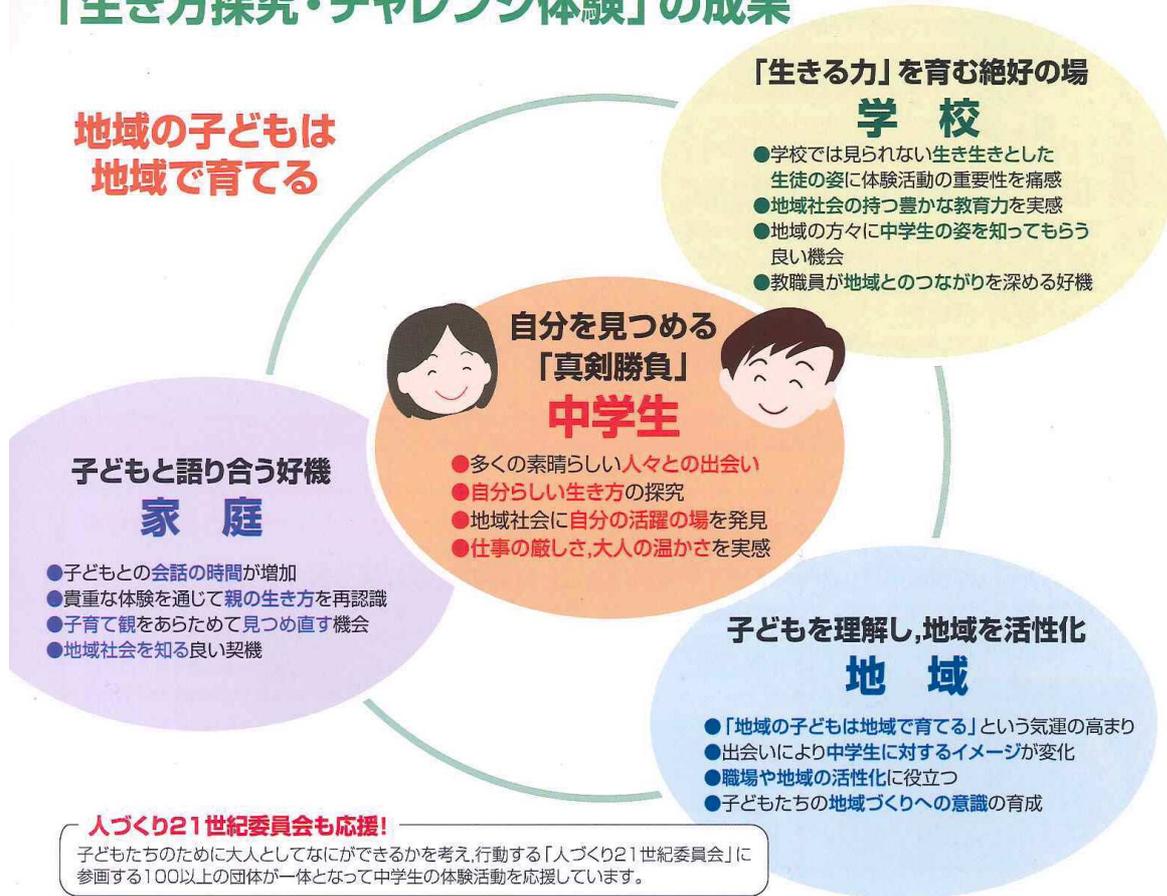


生き方探究・チャレンジ体験とは

自らを見つめ、生き方について考えを深めながら自ら学ぶ力(生きる力)を育む取組で、京都市内の全ての中学校・総合支援学校の1万名を超える生徒(対象学年の全員)が、それぞれの興味や関心に応じた様々な職業体験や勤労体験を、約3,700の事業所等の協力のもと、各学校の計画に基づき、3日以上の日程で行っています。

京都市教育委員会

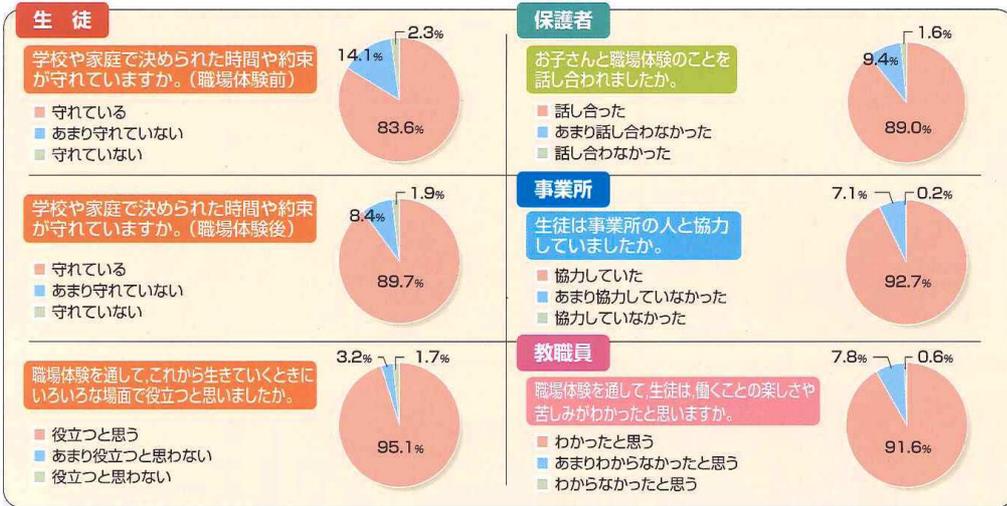
学校・家庭・地域が一体となって未来を切り拓く「生きる力」を育む
「生き方探究・チャレンジ体験」の成果



人づくり21世紀委員会も応援!

子どもたちのために大人としてなにができるかを考え、行動する「人づくり21世紀委員会」に参画する100以上の団体が一体となって中学生の体験活動を応援しています。

「生き方探究・チャレンジ体験」アンケート結果



(平成23年度)

■お問合せ先

京都市教育委員会 京都まなびの街 生き方探究館

〒602-8031 京都市上京区西洞院通下立売下る東裏辻町402
 TEL 075-253-0880 FAX 075-253-0878
 URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/scfp/>

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「生きる力」を育む体験活動を実施しよう!
 平成19年2月6日制定、3月13日議事推進の市会決議



社会的・職業的自立に向けて「生き方探究教育」を推進

京都市では、すべての教育活動において、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことができるようにする「生き方探究教育」（キャリア教育）を推進しています。本事業は「生き方探究教育」の重要な柱の一つであり、地域・社会との関わりの中で、自らの在り方と生き方を考えるかけがえのない機会となっています。

働くことの厳しさと喜びを実感

この事業は、各学校独自の取組を進展させ、平成12年度から始まりました。以後、毎年1万名を超える中学生が参加し、約3,700事業所の御協力の下、かけがえのない貴重な体験をしています。

事業所の方々とのふれあいを通じて「働くことの厳しさと喜び」を実感した生徒たちは、「新たな自分を発見する」など多くの実りを得ています。

効果を高めるため体験日数を学校独自に設定

平成24年度からは、各学校が自校の「生き方探究教育」の取組を再構築する中で、本事業がより効果的なものとなるよう、また、中学生が体験活動の達成感をより深く実感できるよう、事前・事後学習の充実を図りながら、体験日数を学校独自に設定（3日以上）できることとしました。

事業所の皆様には、御負担をおかけしますが、子どもたちの今と未来のため、一層の御支援・御協力をお願いします。

中学生が夢に向かって大きく羽ばたくために

～素晴らしい 出会いと体験～

体験の実施前、中学生を受け入れる事業所も、子どもを送り出す保護者も教職員も、中学生本人も「ちゃんとできるかな」と心配しましたが、素直でまじめに「仕事」をやり通し、最後はみんな「ありがとう」の言葉に変わりました。

事業所の皆様からの声

日々変わっていく姿が嬉しい

●短期間で生徒さんが変わっていく姿がとても嬉しく感じます。何事も一生懸命頑張っている姿を見て、こちらもいい勉強になりました。



●最初は遠慮がちでしたが、少しの助言で動きもキビキビと、声も大きくなり、気持ちのいい態度で全員を引っ張って活動してくれました。



生徒たちの声

大人の大変さ、責任の重さを実感

●普段、親がどんな思いで家族のために働いているのかと思うと、心にジーンときました。それでも何も言わずに私のわがままに付き合ってくれる親に本当に感謝しています。大人になる大変さや責任の重さを改めて実感できました。



高齢者福祉施設での 忘れられない 体験

R.Nさんの体験記

体験前
仕事調べ・事前訪問
こんな体験をしたい…
そこでなにをするの？
イメージがふくらみました。

1日目
午前：お年寄りとの会話
昼：お年寄りの準備
午後：散歩の補助
施設の掃除
不安と緊張でとても疲れました。

2日目
午前：お年寄りとの会話
昼：お年寄りの準備
午後：レクリエーションの準備
施設の掃除
名前も覚えて、少し慣れました。

3日目
午前：読書
午後：レクリエーションに参加
昼：お年寄りの準備
施設の掃除
お年寄りの優しさに気づきました。

4日目
午前：散歩の補助
午後：会議への参加
昼：お年寄りの準備
施設の掃除
職員の方のご苦勞を
実感しました。

5日目
午前：お年寄りとの会話
午後：お別れ会
施設の掃除
もうお別れ…
でも自信ができました。

体験後
お礼訪問・発表会
親切に教えていただいた
ありがとうございました。

感動が人を育てる



京都市長 門川 大作

「まちづくりは人づくりから」。次代を担う子どもたちの育成は歴史と伝統を大切にしながら輝かしい未来の京都を創り出していく上でとても重要です。

14歳の挑戦!学校や家庭では得られない体験を通じて自分を見つめ、「働くこと」「学ぶこと」の大切さを知る子どもたち。その子どもたちを快く受け入れていただいている事業所の皆様との間にたくさんの感動のドラマが生まれています。

今後とも、市民の皆様の一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

社会全体で子どもたちの生きる力を育む



京都市教育長 生田 義久

「チャレンジ体験の出来事を目を輝かせて話してくれた」「子どもの変貌に驚かされた」。皆様からよくお聞きする言葉です。

京都市では、市民ぐるみ・地域ぐるみで“一人一人の子どもを徹底的に大切に”教育を展開しています。中でも、社会的・職業的自立を促す本事業では、中学生が真剣な大人の姿に出会い、ふれあう中で、未来を自ら切り拓きたくましく生き抜くための生きる力を育てています。

御尽力いただくすべての皆様に感謝いたしますとともに、一層の御理解・御支援をお願いいたします。

●今まで仕事は、自分の好きなことだったら楽しいと思っていたけど、辛くしんどいことも多かった。大変という言葉の意味が体で感じられました。



●仕事は、お金をもらうためだけではなく、人の助けになり、国の役に立つことが分かりました。「そういうことができる大人になりたい」と思いました。



保護者からの声

仕事をやり遂げることの大切さ、達成時の喜びを体感

●仕事をやり遂げることの大切さ、達成出来た時の喜び、社会での責任感を学んでくれたと実感しています。

●教科書に書かれていない事を、学校の外で自分の目で見、体全体で学ぶ。それも大切だと思います。

●チャレンジの期間中は、普段よりもたくさん、今日はこうだった、明日はこうしたいなどと話してくれました。地域でも多くの生徒の姿を見かけましたが、皆、積極的な姿勢でとても頑張っていました。御協力いただいた事業所の方に感謝いたします。

教職員の声

地域と学校のつながりを再確認

●多くの事業所から、よく頑張っていると評価され、地域と学校のつながりがさらに深まったと思う。

●生き生きとした表情で感想を話す生徒が多く、それだけ貴重な体験ができたと感じました。

●生徒はしっかりと活動に取り組み、充実した時間を過ごしたようです。これからの生活に、学校では得られない、この貴重な体験を生かしていけるようにしていくことが、私たちの課題となると思います。



Q&A

Q 体験活動までの流れはどのようになっていますか？

A 実施時期や日数は学校毎に違いますが、それぞれの学校で年間計画の中に、この体験活動を位置付けています。事前学習や指導を行ったあと、生徒自身が各事業所へ事前に訪問して注意事項を確認するようにしています。また、生徒はもちろん保護者や地域の方にも参加いただいて報告会を行うなど成果の共有を図っています。

Q 体験する事業所はどのように探しているのですか？

A 各学校が、地域の事業所を中心に、受け入れていただける事業所を探して協力をお願いしています。PTA・地域の方、福祉・教育関係団体、経済団体からも事業所を紹介していただいたり、自ら受け入れてもらったりしています。また、公共施設などでも積極的に受け入れていただいています。

Q 事業所への行き帰りや体験中に事故などが起こったときはどうなるのですか？

A 事故などが起きないように事前に十分体験内容を調べたり、行き帰りの交通安全についても細やかに指導しています。しかし、万一事故が起きた場合には京都市教育委員会が加入している傷害保険・賠償責任保険から必要な補償がされることとなります。

平成 25 年度後継者育成支援事業報告書

平成 26 年 2 月

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター

〒606-8221 京都市左京区田中西樋ノ口町90

TEL:075-722-2051 FAX:075-711-6123